

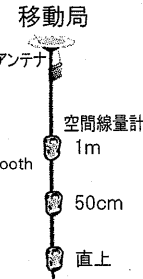
西松建設
茨城工専

空間線量率マッピングを改良

無線機使いエリア拡大

西松建設、茨城工業高等専門学校（茨城県ひたちなか市、日下部治校長）は、昨年開発した「空間線量率マッピング

システム」を改良した。測点まで計測者を誘導するナビ画面の画像ファイル上に、計測結果の空間線量率分布を出力可能なマッピング機能を標準装備することにも、除染作業前の計測結果から除染効果を示す低減率を直ちに算出できるよう改善。新たにインターネット回線を使わない無線機の活用で計測可能エリアも拡大した。



GPS/GLONASS衛星



無線機を利用した空間線量率マッピングシステムの機器

無線機を利用した空間線量率マッピングシステムは、従来手法

【建設ICT】

- | | | | |
|----------|--------|--------|---|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 | 日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中伊 | 日 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 | 勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊 | 工 |
| ⑬建設通信 | 14. 信濃 | 15. 日本 | 海 |
| 16. 建設工業 | | | 事 |

平成25年6月26日(朝)・夕) P 3

建設通信新聞

に比べて約6分の1に省力化する放射線量計測技術で、西松建設、茨城工業高等専門学校、デジメイト（本社・東京都足立区、広瀬篤社長）が共同開発。RTK（リアルタイムキネマティック法）—GNSS（汎地球測位航法衛生シ

ステム）測位を利用した測定点までの高精度ナビゲーション機能により、地上から高さ1m、50m、100mの3測点の空間線量率を計測者1人で同時に測定・記録する。今回の改良は、広い範囲にわたる面的除染の効果を直ちに把握し、追加の除染作業の検討など現場へのフィードバックができる体制をつくるのが狙い。空間線量率の低減率を直ちに算出し、別途にCADやGIS（地理情報システム）ソフトなどで分かりやす

く表示するため、周辺住民にも迅速に情報提供できる。また、携帯電話によるインターネット回線を使った従来システムの、携帯電話のサービスエリアから外れている地方ではナビ機能が利用できなかったが、無線機による基準局・移動局間のデータ通信を可能にしたことで計測可能なエリアが拡大した。

西松建設からは、今後も適宜、システムを見直すとともに、その信頼性、有用性を積極的にアピールしていく。